

令和5年(2023年)5月23日

関係大学長
関係機関長 様

名古屋市立大学大学院人間文化研究科長
野中 壽子(公印省略)

教員の公募について(依頼)

このたび本研究科では、従来のマスメディアの影響等に関する知見を有しているだけでなく、今世紀に新しく普及したメディアにも通じた研究者の公募を、下記の要領で行います。

つきましては、この旨を関係学部・大学院等に広くお知らせくださいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 所属 名古屋市立大学大学院人間文化研究科(人文社会学部現代社会学科)
2. 職名・人員 准教授または講師 1名
3. 専門分野 社会学(メディア論)
4. 担当予定科目 大学院:人間文化研究科の科目(「現代社会情報・メディア研究」「現代社会論特講」)
人文社会学部:「社会学概論」「メディア社会学1・2」「社会調査実習1・2」「専門演習1-4」「卒業論文」「社会学史(オムニバス)、ESD基礎科目(オムニバス)、教養科目など
5. 応募資格 以下に挙げる要件を全て満たす者。
(1)博士の学位を有する者。またはこれと同等の研究業績を有する者。
(2)持続可能な社会の実現(sustainable development)という課題に関心があり、本学でのESD、SDGsに関係する諸活動を推進していく意欲を有する者。
(3)学内での業務(教職課程の運営を含む)および学生指導に意欲を有する者。
(4)本学の都市政策研究センターや名古屋市と連携した、シティプロモーション戦略の研究や助言等に意欲を有する者。
(5)採用後は、名古屋市またはその周辺に居住できる者。
(6)専門社会調査士資格を取得していることが望ましい。
6. 採用予定日 令和6年(2024年)4月1日
7. 応募期限 令和5年(2023年)9月11日(月)(当日消印有効)
8. 提出書類 (1)履歴書(別紙様式によるA4判)
最終学歴を証明する公的文書のコピーを添付すること。
(2)研究業績目録(別紙様式によるA4判)
著書・論文などのうち主要なもの5点以内(修士論文は除外、博士論文は含む)に○印をつけること(連載論文はまとめて1点と数えること)。
(3)応募必要事項記入用紙(別紙様式によるA4判)
(4)研究業績目録で○印をつけた5点以内の著書・論文等の概要(様式自由、1点ごとにA4判1枚で日本語400字以内の要約を作成すること)。
(5)研究業績目録で○印をつけた5点以内の著書・論文の抜き刷りまたはそのコピー。
(6)教育・研究に対する抱負(A4判、様式自由・2000字程度)。
(7)上記(1)(2)(3)(4)(6)の文書をファイルに入れCD,DVDまたはUSBメモリーに保存し

てご送付ください。

9. 提出先 〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地
名古屋市立大学大学院人間文化研究科長 宛
(なお、提出書類は、〔簡易書留〕で郵送、またはそれに類する方法で送り、封筒に「社会学
教員応募関係書類」と朱書きすること)
10. 照会先 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
照会は原則として e-mail でお願いします。
(e-mail : recruit_mediasoc2023@hum.nagoya-cu.ac.jp)
11. その他 (1)提出された応募書類により取得した情報は、当該選考目的以外には使用しません。提出さ
れた応募書類は、原則として返却しません(選考終了後に、適正に廃棄します)。なお、応
募書類等の返却を希望される場合は、返却希望の旨を明記の上、返信切手を貼った封筒を
同封してください。
(2)選考の最終過程で面接を実施します(面接時の旅費支給は行いませんので、ご了解くださ
い)。
(3)採用予定者となった場合には、名古屋市立大学病院で健康診断を受けていただきます。
(4)「履歴書」「研究業績目録」「応募必要事項記入用紙」の別紙様式A4版は、「JREC-IN Portal」
の当該求人公募情報のページ、または、人間文化研究科ホームページからダウンロードし
て下さい。
(5)名古屋市立大学では男女共同参画を推進しており、教員の採用、昇任においては、業績と
能力が同等であるならば、女性を積極的に採用し、昇任させます。
(6)本学は敷地内禁煙を実施しており、教職員には、この方針を遵守していただくとともに、
大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。
(7)本学の教員の定年は、満65歳です。